

怒りの「総がかり」緊急行動

隠ぺい、改ざん、ねつ造、セクハラ政権は今すぐ総辞職！

「働き方改悪」法案の強行採決許さない

5月24日、ライラック祭りが開催されている札幌大通公園で「総がかり緊急行動」がおこなわれ、「リラ冷え」とも言える寒さの中で350人が怒りの声をあげました。会場となった西3丁目の噴水広場付近には「安倍が辞めろ」「麻生が辞めろ」「改ざん内閣は総辞職」などと書かれたプラカードが並び、集会のあとは「隠ぺい、改ざん、ねつ造、セクハラ政権は今すぐ退陣！」の横断幕を掲げて自民党道連に向けてデモパレードしました。「働き方改革」法案強行採決のうごきが強まる中で、リズムにのせたサウンドデモでは「ウソつき内閣総辞職しろ」「政治を私物化するな」のコールとともに「働き方を勝手に決めるな」「高プロ法案絶対反対」「過労死法案絶対反対」「残業代をまともに払え」「強行採決絶対反対」とコールし、沿道には車イスに乗って応援にかけつけてくれた人、声援を送ってくれる人などいました。

札幌ダンプ支部に1人が新加入

札幌ダンプ支部で新しい組合員が増えました。むかわ町に住むダンプ労働者で、建交労の組合員の紹介で組合を知り加入しました。税金相談が希望でしたが、労災保険にも特別加入することになりました。建退共加入についても検討したいとのことで資料を送りました。



道本部の新しい専従に宮澤さん

道本部の新しい専従者として5月16日から宮澤毅（みやざわ・つよし）さんが着任しました。宮澤さんは札幌合同支部委員長としても建交労の活動にとりくんできました。「建交労」雑誌版の今年2月号の「登場」のページに宮澤さんのプロフィールが紹介されています。

北海道建設アスベスト第2陣訴訟・原告本人尋問

5月24日、札幌地裁で「北海道建設アスベスト第2陣訴訟」の原告本人尋問がおこなわれました。高木勝己裁判長に交代したため弁論更新し、5人の原告が尋問に答えました。配管工として働いていた父親を肺がんで亡くした寺井さん、塗装工だった夫が肺腺がんで亡くなった尾西さん、大工だった夫を肺がんで失った中村さん、解体工だった夫が肺がんで亡くなった樺嶋さんの遺族原告4人が闘病の様子とアスベストで命を奪われた悲しみと怒りを述べ、大工として働き肺がんで労災認定された野村さん（函館支部）は「元の体を返してほしい」と訴えました。次回（7月19日）、次々回（10月25日）のあとの期日が12月13日に決まりました。